

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

2030 年雇用半減説 トーマス・フライ (未来研究者)

1. 「今後数十年で、世界中の全雇用の 50%、20 億人分の仕事が機械化でなくなる」。米国でそんな主張をしている学者がいる。シンクタンク、米ダビンチ・インスティテュートの創設者、トーマス・フライ氏だ。未来研究を続けたその成果の 1 つが「2030 年雇用半減説」だ。フライ氏によれば、機械化により雇用大減少は主に 4 つのキーテクノロジーの進化で幕を開ける。マイクログリッド、自動運転、3D (3 次元) プリンター、そしてロボットだ。
2. フライ氏は、それぞれの技術が以下のような仕事を減らすと考える。①マイクログリッド技術により、分散型の電力網が普及すれば、大規模発電所や石油化学工場、燃料輸送・電力網のメンテナンスなどの仕事が減る。②自動運転技術で、タクシーやトラックなどの職業ドライバーが減る。また、交通事故の減少が警察や裁判所、医師、看護師の仕事をも減らす。③3Dプリンターの普及で、多くの人が洋服や靴程度は自分で作るようになり、製造業や小売業の雇用が少なからず失われる。④ロボットの高性能化し、漁師、採掘師、農家、建設労働者など機械で肩代わりできる仕事の多くが減る。
3. だが、技術が進化してもすべての仕事がロボットに取って代わられるわけではない。勝つのは匠の技か、それとも科学者か。その勝負の行方は、30 年後も付加価値を保つ産業とそうではない産業の境界線が浮かんでくる。

(参考:「日経ビジネス」2013 年 8 月 12 日・19 日号)

経営者のための営業学

ここ数年で 5 割増の売上

1. 出荷量の減少に悩む日本酒 (清酒) 業界のなかで、毎年出荷量を増やす異次元の動きを見せる旭酒造 (山口県岩国市)。今期 (2013 年 9 月) の売上高は 40 億円に達する見通しで、ここ数年 5 割強で売上を伸ばし続けている。同社が製造する日本酒「獺祭」は 1990 年に発売以降、桜井博志社長が、自ら酒販店や飲食店に営業回りをし、徐々に知名度を上げていった。
2. 足で稼いだ結果、今や単一ブランドとして出荷量は全国一の規模になった。国内ばかりではなく世界 18 カ国にも出荷を広げ「ニューヨークで最も売れている日本酒」とも言われている。国内外での好調な出荷を背景に、旭酒造は約 25 億円を投じて生産能力を 2014 年末までに 3 倍に引き上げる。

(参考:「WEDGE」2013 年 9 月号)

新規成長分野

MBA 坊主の未来の住職塾

1. ライブにカフェ、インターネットでのコンテンツ作成。まるで IT ベンチャーのような「何でもあり」の印象を受けるこの取り組み、すべて「お寺」で行われる。舞台は東京・神谷町の光明寺。このお寺は昼間はカフェになり、年に数回、お堂の中で音楽ライブも開催される。極め付けはネットでのオリジナル仏教メディア、「虚空山彼岸寺」。お寺側からの情報発信を行っている。保守的な印象を受ける仏教界が変わり始めている。
2. その仕掛け人が松本紹圭 (34) だ。東大哲学科 3 年のとき、仏門に入ることを決意。出家後はインドに渡り名門ビジネススクール MBA (経営学修士) を取得した。「仏教は奥が深い。生老病死の悩みに応えるだけではない。恋愛や健康、さらには転職など現代のビジネスパーソンが抱える悩みの多くに応えられると思ったのです」。松本氏は現在、お寺の経営を指南する「未来の住職塾」に力を入れる。

(参考:「週刊東洋経済」2013 年 7 月 27 日号)

古典に学ぶ

静は動を支配する

(解説) 重いものは根となって、軽いものを支える。静は、絶えざる動きを支配する。聖人は、旅がいかにか長びこうとも、輸送車を離れて先走りはしない。重いものこそ根本であることを心得ているからだ。はなやかな眺めに接しても、悠然として心を動かさない。静こそ治者の徳であることを心得ているからだ。

(参考:奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」:徳間書店)